



2022 年も気象変動に負けない米づくり！

酒田飽海の つや姫・雪若丸情報

第7号



令和4年9月16日発行
庄内総合支庁
酒田農業技術普及課
Tel(22)-6521 Fax(22)-6522

「雪若丸」は“今”が刈取り適期です ブランド米「つや姫」「雪若丸」は品質最優先！

刈取り晩限を守って品質低下を防止しよう！

管内では「雪若丸」の出穂後積算気温がまもなく1,200℃となります。適期内刈取りをすすめましょう。8月は極端な日照不足となったため、初期の登熟が緩慢となりました。一方、出穂後は高温で経過したため、**胴割粒発生**のリスクが大きくなっています。

「つや姫」も、出穂後の日照不足の影響を受け初期の登熟は遅れていましたが、現在は平年並み近くまで遅れを取り戻している圃場もあります。まもなく、出穂後積算気温が1,000℃となり刈取り適期に入ります。

ブランド米である「つや姫」「雪若丸」の最後の仕上げの時期です。適期内刈取りと丁寧な乾燥調製で、今年も高品質でおいしい酒田飽海の「つや姫」「雪若丸」を届けましょう。

1 これまでの気象経過

表1 出穂後の気象経過

酒田アメダスデータより作表

品種名	出穂期	出穂後 6~10日※	出穂後 1~20日	出穂後 21~40日	出穂後 40日間	積算日照時間(h) 8/1~8/31	
		最高気温	平均気温	平均気温	平均気温	本年	平年
雪若丸	8月2日	32.0	28.4	24.0	25.1	115.3	193.6
つや姫	8月9日	28.3	25.0	23.6	24.3	平年比59%	

※高温で胴割粒発生しやすい

(9/15まで本年値、以降平年値)

登熟期間中、8月の日照時間が平年比59%と極端な少照で推移したため、登熟不良が懸念されます。特に籾数が多い圃場では、登熟の進展が遅れている状況です。また、表1をみると、「雪若丸」は胴割粒の発生率が高まる気象要因（出穂後6~10日の気温が30℃以上）にあてはまります。

2 生育診断圃の登熟状況と玄米品質

(1) 「雪若丸」

図1は、9月13日にサンプリングした圃場の「雪若丸」の様子です（上：籾、下：精玄米）。表2に登熟調査の結果をのせています。生育診断圃では籾数が平年比105と多く、白未熟は少ないものの青米が目立ちます（9/13の出穂後積算平均気温1054℃(酒田アメダス)）。



図1 9月13日現在の「雪若丸」籾・精玄米の状況
(酒田市前川)

図2は、「雪若丸」の登熟歩合の推移です。平年と比べると登熟歩合は、遅れております。登熟歩合70%程度で登熟の進みが鈍化する傾向がみられます。籾数が多い圃場や出穂が遅れた圃場では、特に稲の状態を注視して刈取り時期の判断を行いましょう。

(2)「つや姫」

図3は、9月13日にサンプリングした「つや姫」の様子です。白未熟は少ないものの、青米が目立ちます(9月13日の出穂後積算平均気温868℃(酒田アメダス))。

図4は、「つや姫」の登熟歩合の推移です。圃場により登熟歩合の推移に差があります。これは籾数の違いによる登熟の差と考えられます。

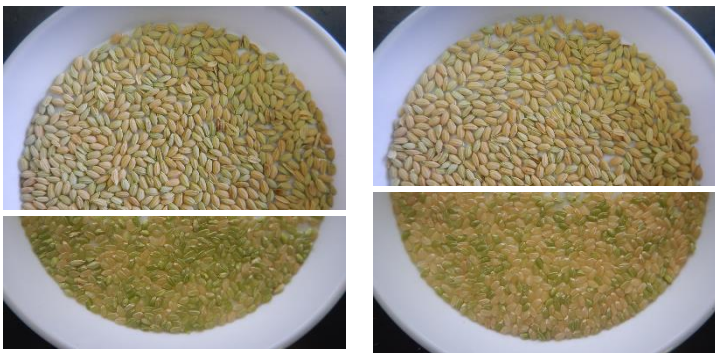


図3 9月13日現在の「つや姫」籾・精玄米の状況
(左:酒田市漆曽根、右:酒田市坂野辺新田)

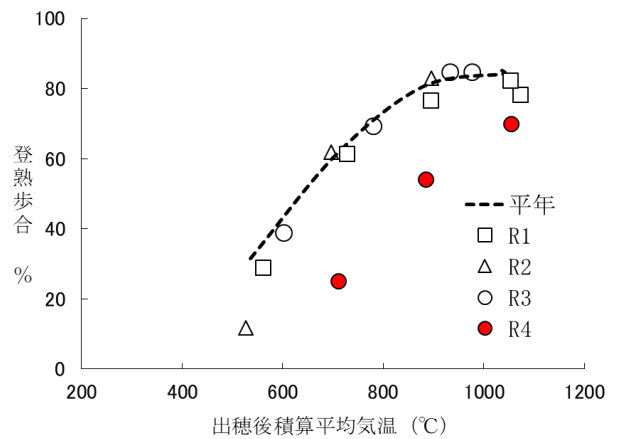


図2 生育診断圃場の積算気温と登熟歩合の推移
(酒田市前川「雪若丸」)

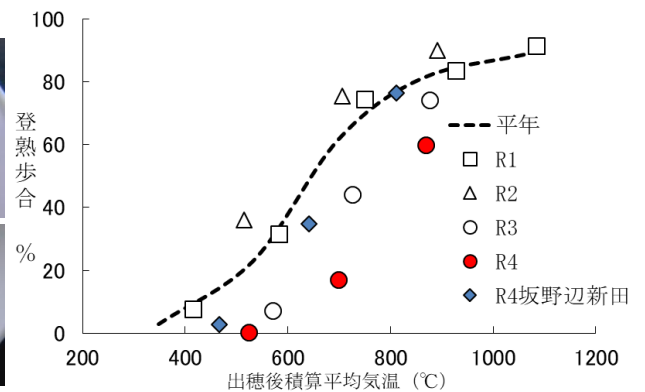


図4 生育診断圃場の積算気温と登熟歩合の推移
(酒田市漆曽根・坂野辺新田「つや姫」)

表2 登熟調査結果(9月13日サンプリング分)

	出穂期	一穂籾数 (暫定値)	m ² 籾数 (暫定値)	青籾歩合	登熟歩合	精玄米 粒数歩合	積算温度
雪若丸 (酒田市前川)	8月2日	65.6粒 (平年比129)	37,900粒 (平年比126)	39.3%	69.9%	66.8%	1054℃
つや姫 (酒田市漆曽根)	8月9日	87.5粒 (平年比125)	39,700粒 (平年比126)	67.2%	59.8%	43.4%	868℃
つや姫 (酒田市坂野辺新田)	8月11日	78.4粒 (平年比114)	35,600粒 (平年比123)	42.3%	76.4%	69.3%	811℃

表2の登熟歩合をみると、登熟歩合60~70%で登熟の進みが鈍化する傾向がみられ、成熟期の登熟歩合が平年を下回る圃場が出てくるとみられます。

3 適期内刈取りと丁寧な乾燥調製を ~刈遅れ厳禁~

○「雪若丸」の刈取り晩限は、8月2日出穂で9月19日です。刈遅れや急激な乾燥は、胴割粒の発生を増長させ品質低下につながります。刈取りを急ぐとともに、丁寧な乾燥調製を心がけましょう。

○「つや姫」刈取り適期の目安は8月9日出穂で9月20日~29日です。刈始め時期は、積算気温を目安に、圃場の籾数の多少、枝梗の黄化具合、青籾歩合、籾水分等から総合的に判断しましょう。青籾歩合がなかなか低くならず、刈始めがやや遅れる場合でも、品質を維持する観点から刈取晩限は遅くなりません。刈遅れないよう計画的に作業を進めましょう。

○Agrilook(リモセン生育診断)に「つや姫」の刈取り適期判断機能が追加されました!

生育診断のタブから「刈取適期マップ」を選択して下さい。刈取適期を判断する指標の一つとして活用し、適期刈取りで高品質な「つや姫」にしましょう。

詳細は酒田農業技術普及課へ問合せ下さい。



秋季農作業事故防止運動強化期間(9/1~10/31)